



日本海

日々の様子は学校
ホームページから！

「藤塚小ブログ」は連日更新中！



地域の方々や保護者の方々からのお話をとおして

校長 山田 耕世

今年度、様々な場面で、たくさんの地域の方々や保護者の方々から、藤塚小学校への思いや藤塚小学校の歴史、当時の懐かしい出来事などを聴かせていただいております。本当にありがたい限りです。

例えば、次のようなお話を聞かせていただきました。

「閉校記念 藤塚ふれあい文化祭」で、6年生の子どもたちが発表していた藤塚小学校の歴史に関わってだけど、昭和52年(1977年)から続いていた魚沼市の須原小学校との交歓会は、保護者にとっても心に強く残っている行事だったんだよ。

以前は、冬になると、子どもたちだけでなく、保護者もバスに乗り、一緒に須原に行ったんだよ。軽トラックでスキーの道具を運んだものだよ。夏になると、逆に、須原の子どもたちだけでなく、須原の保護者も藤塚浜にたくさん来たもんだよ。みんなで民宿に泊まり、夜遅くまで親睦を深め合ったもんだよ。そこで知り合った保護者同士で後日会ったこともあったんだよ。そんなことも今ではとっても懐かしい思い出だよ。

藤塚小学校の校舎の周りも、昔と今ではだいぶ変わったね。昔は、学校で鳥を飼っていたんだよ。体育用具を入れている小屋が今は外にあると思うけど、その小屋に鳥を飼っていたんだよ。確か、卵も産んだもんだよ。それとグラウンドの奥には松林がひろがっていたんだよ。とっても懐かしい時代だね。

藤塚小学校の運動会は、昔は、学校の運動会と地域の運動会があって、それが1つになったんだよ。だから、運動会は、学校だけでなく、地域にとっても大切な行事だったんだよ。コロナ禍の前までは、昼食時間、子どもたちはおうちの方々や親戚の方々と一緒に弁当を食べて、みんながつながる大切な時間だったんだよ。

今年度、「藤塚浜の秋祭り」は、朝からすごく雨が降っていたね。しかし、今年度は、藤塚小学校が閉校だから、何とか子どもたちによる大漁太鼓の演奏を実現させたかったんだ。だから、外ではなく、集会所の中にブルーシートを敷き、子どもたちが演奏できるようにしたんだよ。

演奏の途中で、卒業生(中学生)が「助っ人」で太鼓をたたいてくれた時も、本当に助かったね。子どもたちが大漁太鼓の演奏を最後までやり遂げることができ、本当に良かったね。

オンラインやSNSなどが広がっている今の時代だからこそ、顔を合わせて、直接、お話を聴かせていただくことは大変貴重な瞬間です。お話を聴かせていただくことをとおして、その方の人柄にも触れることができます。これまでお話を聴かせていただいた方は、どの方も、藤塚小学校への思いが熱く、当時のことを懐かしく、誇らしく語ってくださった方です。これからも、ぜひ、たくさんの方々から直接お話を聴かせていただきたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

